

令和 7 年度  
千曲市消防団改善計画

令和 7 年 3 月  
千曲市 危機管理防災課

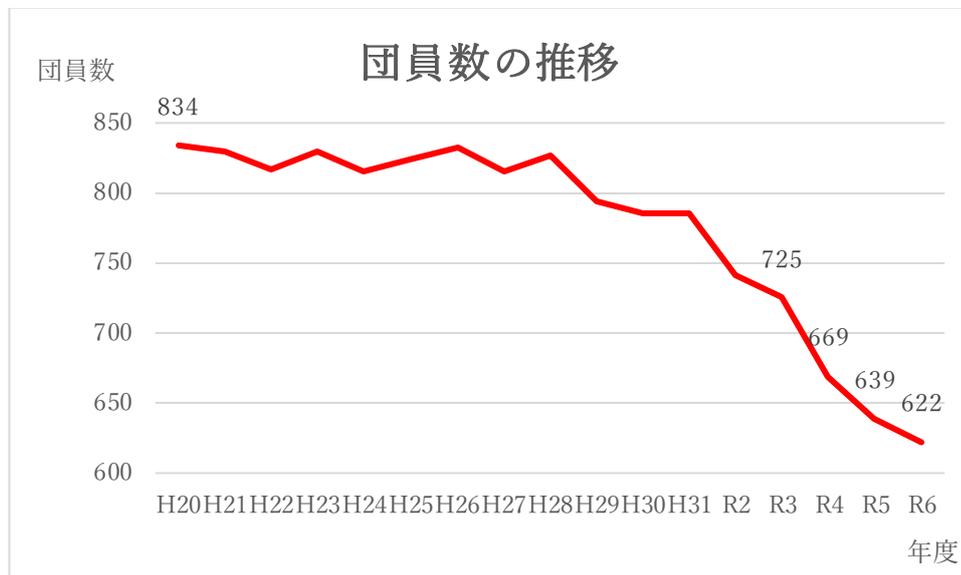
## 目次

1.はじめに .....	1
策定の趣旨及び経過 .....	1
2.令和7年度事業の主要方針.....	2
【方針作成にあたり大事にしたい基本姿勢】 .....	2
【方針に基づく主要な取り組み内容について】 .....	2
3.令和6年度事業の振り返りと令和7年度の取り組み(PDCA).....	2
テーマ①ポンプ操法大会のあり方.....	2
テーマ②新入団員の確保のあり方.....	5
テーマ③各種イベント(お祭り警戒等)との関わり方.....	8
テーマ④消防団行事(任命式や出初式等)のあり方 .....	9
テーマ⑤その他の諸課題.....	12
令和7年度 千曲市消防団事業計画(日程表).....	15
4.改善計画の運用.....	16
5.参考資料.....	16
令和6年度千曲市消防団アンケートの結果概要.....	16
総務省消防庁作成「消防団員の確保に向けたマニュアル」関係資料.....	17

# 1.はじめに

## 策定の趣旨及び経過

千曲市消防団の団員数は令和5年4月2日時点で、条例の定数834名のところ、実員数が639名、充足率は76.6%です(令和6年4月2日時点でも、実員数は622名で、充足率は74.6%)。平成20年からの15年間で200人近く減少しており、消防団員の確保が喫緊の課題となっています。



そこで、千曲市では、令和6年3月に「令和6年度千曲市消防団改善計画(以下、「改善計画」という。)」を策定しました。この計画は令和4及び5年度に住民参加型システム「ポリネコ! CHIKUMA」等を通じて集めた消防団員の声を基に課題を整理し、「今後も千曲市消防団が持続可能な組織であるためにどうすべきか、現在の消防団活動のあり方を見直す第一歩とすること」を目的としています。

改善計画で整理した課題は以下の5点です。

- ①団員の大きな負担になっている消防ポンプ操法大会のあり方
- ②団員の大きな負担になっている新入団員確保のあり方
- ③団員から疑問の声が多く寄せられた各種イベント(お祭り警戒等)との関わり方
- ④団員から廃止や改善を求める声が多く寄せられた消防団行事(任命式や出初式等)のあり方
- ⑤その他の諸課題にどう対応するか

そして、改善計画では「毎年度、1月～2月頃に各主要方針に基づく実際の活動の進捗や反省事項の確認(ローリング作業)を行い、次年度の活動計画に反映させること」としています。そこで、本計画では令和6年度の改善計画で掲げた取り組みの進捗をPDCA方式で振り返り、令和7年度の千曲市消防団活動に反映することとします。

## 2.令和 7 年度事業の主要方針

### 【方針作成にあたり大事にしたい基本姿勢】

令和 6 年度策定の改善計画で示した以下の基本姿勢を継続します。

- 1.消防団が必要とし、持続可能な組織であるための取り組みか
- 2.目的が明確であり、団員がその意味や意義を理解できる取り組みか
- 3.目的達成のための方法が最適と言える取り組みか

### 【方針に基づく主要な取り組み内容について】

令和 6 年度策定の改善計画で示した「改善計画の運用」に基づき、令和 6 年度に改善計画で掲げた課題に対して、実際の活動の進捗や反省事項の確認（ローリング作業）を「PDCA 方式(※)」で行い、令和 7 年度の活動計画に反映させます。また、令和 6 年度に分団長会議で提言された新たな課題に対する取り組みも含めることとします。

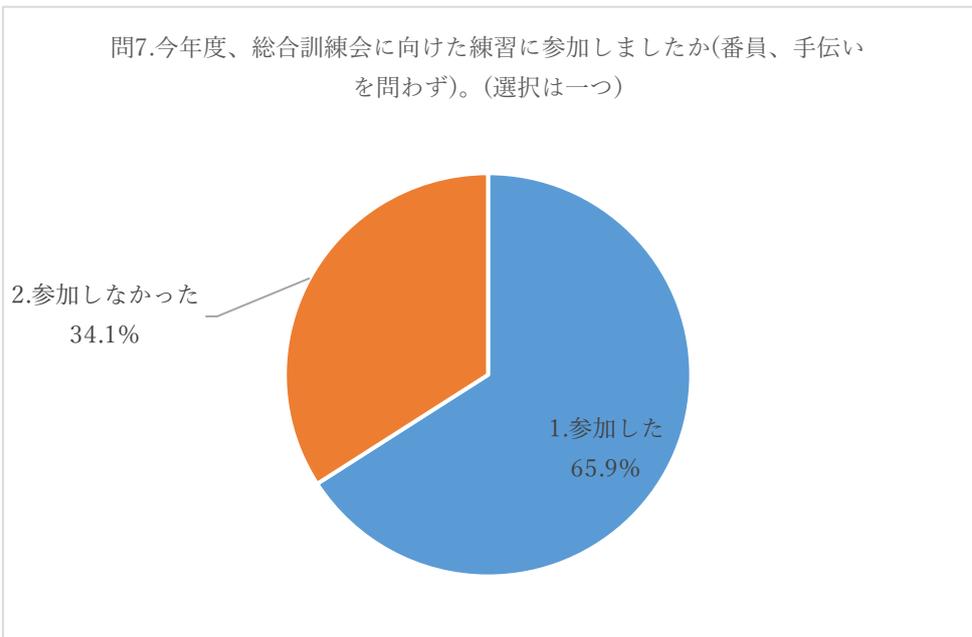
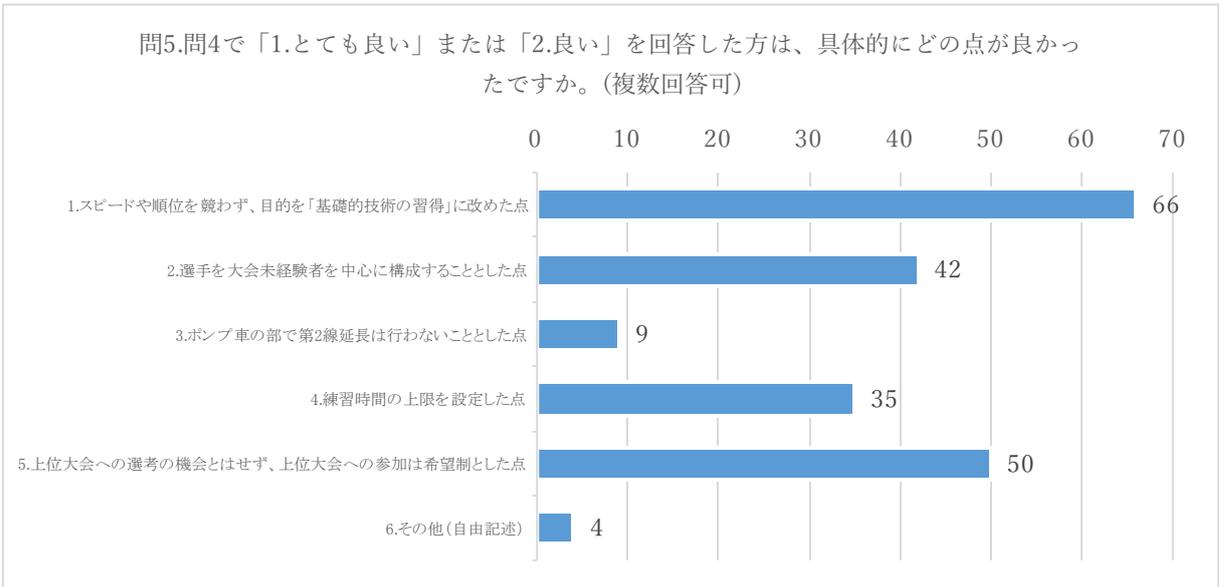
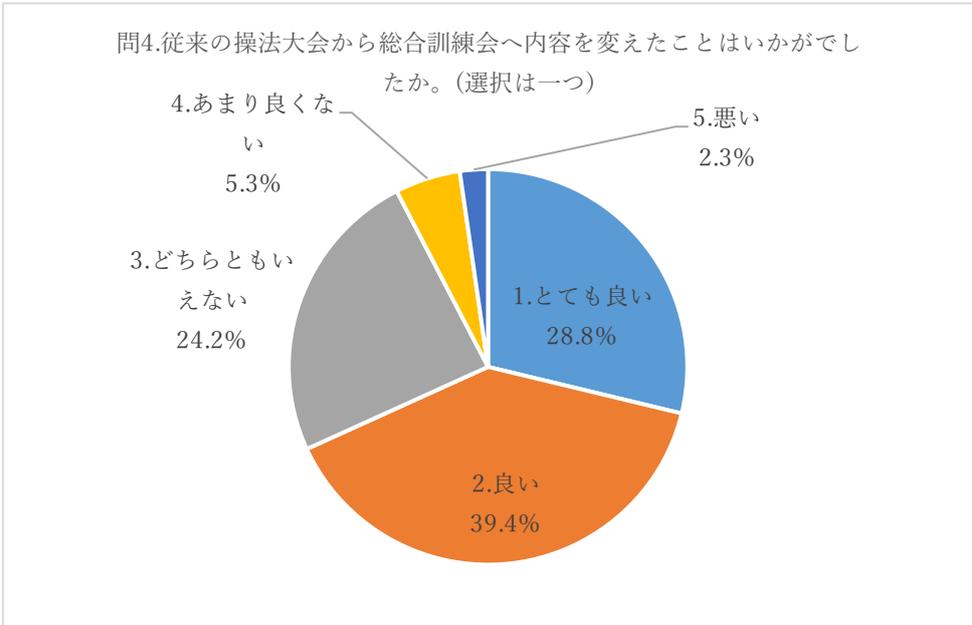
※…PDCA 方式とは：Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)という一連のプロセスを繰り返し行うことで、業務の改善や効率化を図る手法。本計画において Check(評価)は、各事業直後の分団長会議での振り返りや、令和 6 年度千曲市消防団アンケートの結果等(概要は P16 参照)から整理します。

## 3.令和 6 年度事業の振り返りと令和 7 年度の取り組み(PDCA)

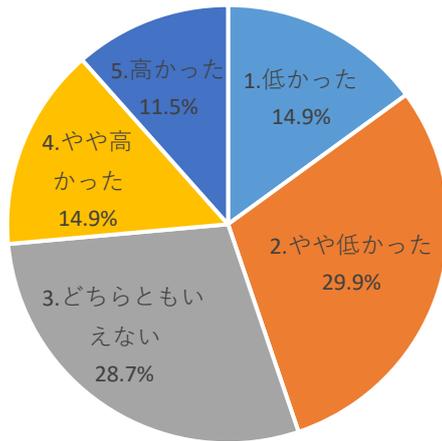
### テーマ①ポンプ操法大会のあり方

令和 6 年度計画で掲げた主要方針(要約) (P)	令和 6 年度中に実施できたこと (D)
<p>操法大会に代わる総合的な訓練の実施〈大会は休止し、「操法技術総合訓練会」を実施〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「消防団員の負担軽減」と「地域消防力の維持」の両立を図るため、従来の操法大会はいったん休止し、代替として「操法技術総合訓練会」を行う。</li> </ul>	<p>操法技術総合訓練会実施に向けた準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的目標基準や練習時間の上限(16 時間)の設定等を含む実施要領等の作成、審査員との事前打ち合わせ等を行った。</li> <li>・訓練会当日の 6 月 23 日(日)は早朝から大雨となり、午前 5 時 30 分の時点での降水量から中止とした。</li> </ul>
令和 6 年度の評価・反省点 (C)	令和 7 年度の取り組み (A)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の操法大会から内容を変えたことは一定の評価を得た。</li> <li>・悪天候時の対応規準が不明瞭だった。</li> <li>・代替訓練の用意はなかった。</li> <li>・「雨天決行」としていたが、当日早朝の大雨により中止となった。団員からは「練習の成果が披露できず、チェックも受けられない」「モチベーション低下になる」といった声が複数寄せられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 6 年度の取り組みを継続し、市操法大会は実施せず、上位大会への参加は希望制とする。</li> <li>・代替訓練の機会を確保したうえで、操法技術総合訓練会を実施する。</li> <li>・悪天候時の対応規準を整理する。</li> </ul>

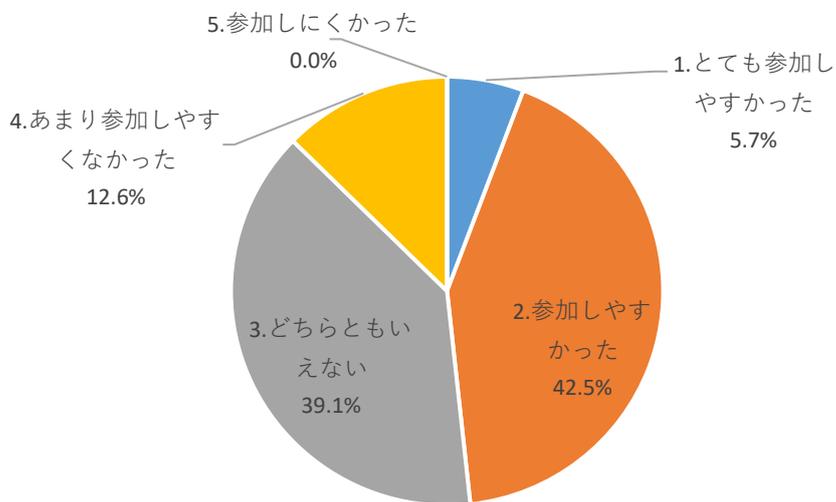
◆関連するアンケート結果（設問 4~11 の結果概要）



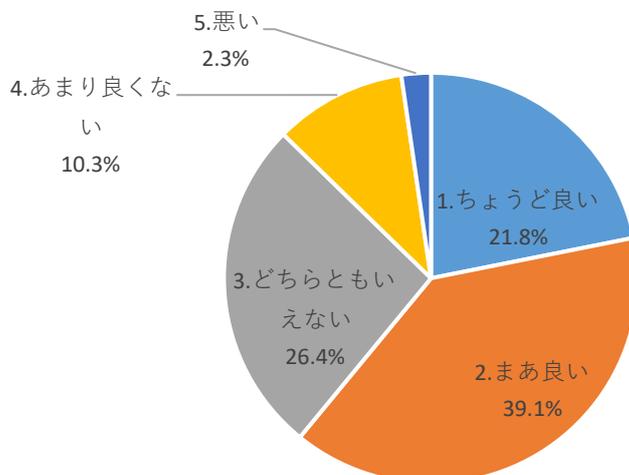
問8.操法訓練の負担感や疲労感はいかがでしたか。(選択は一つ)



問9.操法訓練への参加のしやすさはいかがでしたか。(選択は一つ)



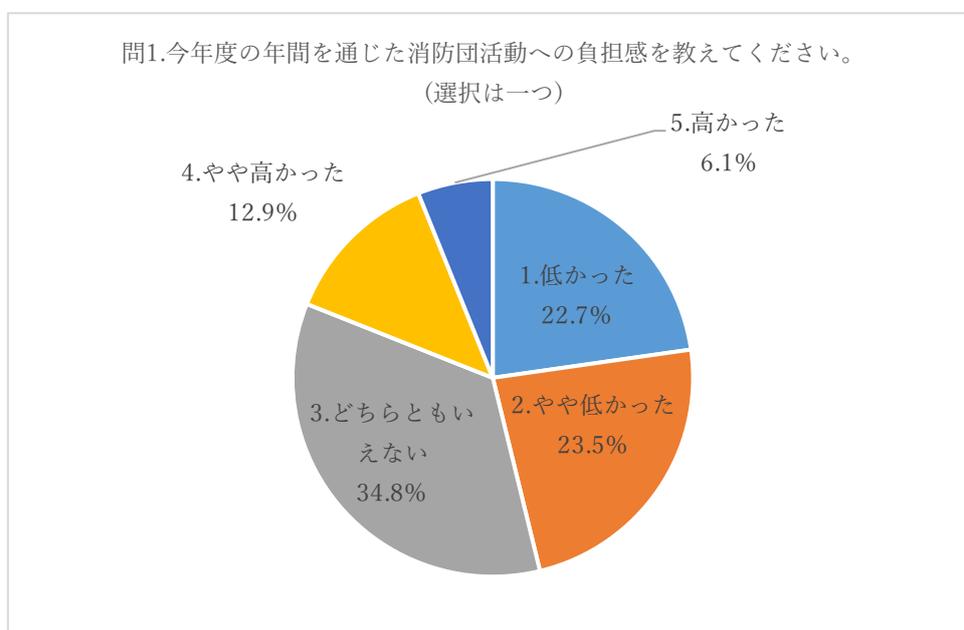
問10.練習時間の上限を16時間に設定したことはいかがでしたか。(選択は一つ)



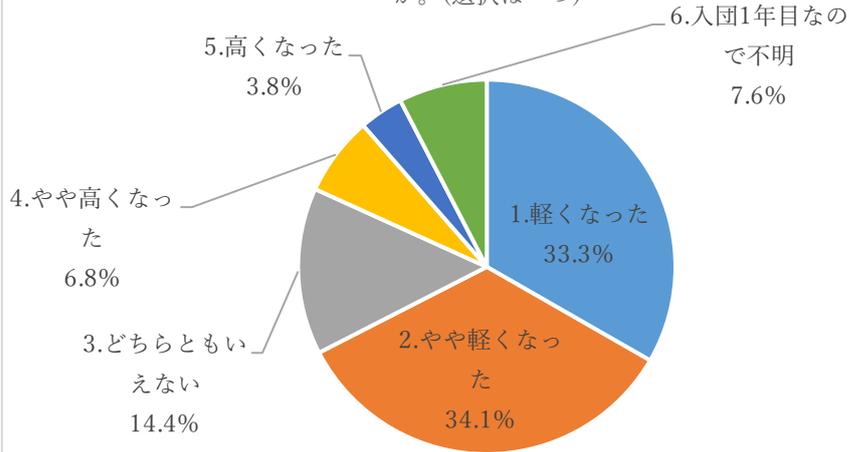
## テーマ②新入団員の確保のあり方

令和6年度計画で掲げた主要方針(要約)(P)	令和6年度中に実施できたこと(D)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局が分団毎の課題を聞き取り、継続的な対応を消防団員と共に検討する。</li> <li>・市内企業や区・自治会への働きかけを継続・拡充することや、消防団に対する理解促進を図るPR活動を充実させていく。</li> <li>・事務局が、機能別消防団の設置の検討を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区・自治会への働きかけの継続、広報/PR活動の強化</li> <li>・区長会連合会での協力要請</li> <li>・市報での巻頭特集記事、コラム記事の掲載</li> <li>・新たなPRチラシの作成</li> <li>・各分団の勧誘活動の成功事例や課題等を分団長会議で共有</li> </ul>
令和6年度事業の評価・反省点(C)	令和7年度の取り組み(A)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・負担軽減の取り組みは、団員と家族に一定の評価を得ており、大量退団のリスク抑止効果は推察できるが、新入団員増加にまで結びついているかは不明。改善の取り組みを継続しつつ、対外的な理解促進の推進が必要。</li> <li>・企業への働きかけは十分ではない。</li> <li>・市民に直接活動を披露する機会が減少した。</li> <li>・SNSでの情報発信等について研究が必要。</li> <li>・機能別消防団の設置は情報収集に留まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善の取り組みを継続し、団員及び家族の負担軽減と満足度向上の両立を図る。</li> <li>・企業/区・自治会への働きかけを継続する。</li> <li>・新規PR事業として「消防団フェスタ(仮称)」を実施する。また、この企画の準備を通じて、分団を超えた団員間の対話機会を創出する。</li> <li>・SNSの活用等について研究を進める。</li> <li>・機能別消防団について研究を進める。</li> </ul>

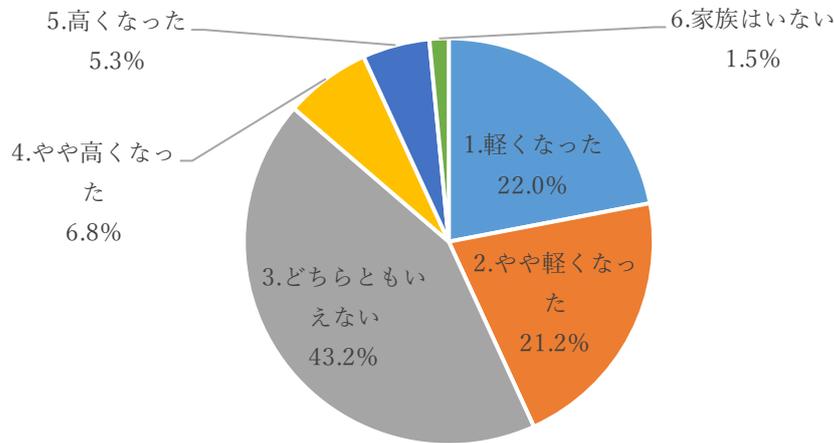
### ◆関連するアンケート結果（設問1~3及び12、13、15の結果概要）



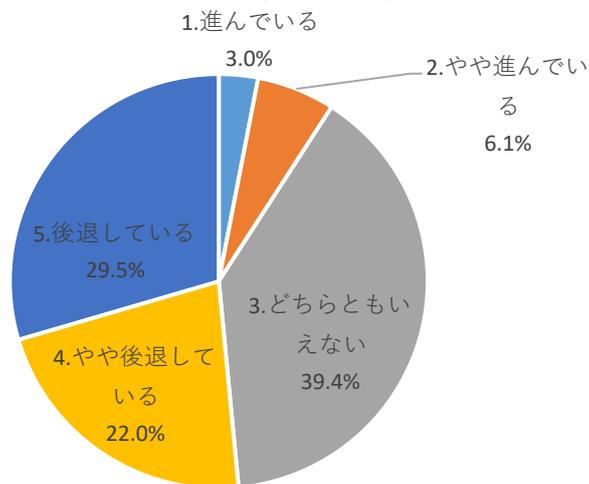
問2.今年度の消防団活動の負担感は過去と比較して変化はありましたか。(選択は一つ)

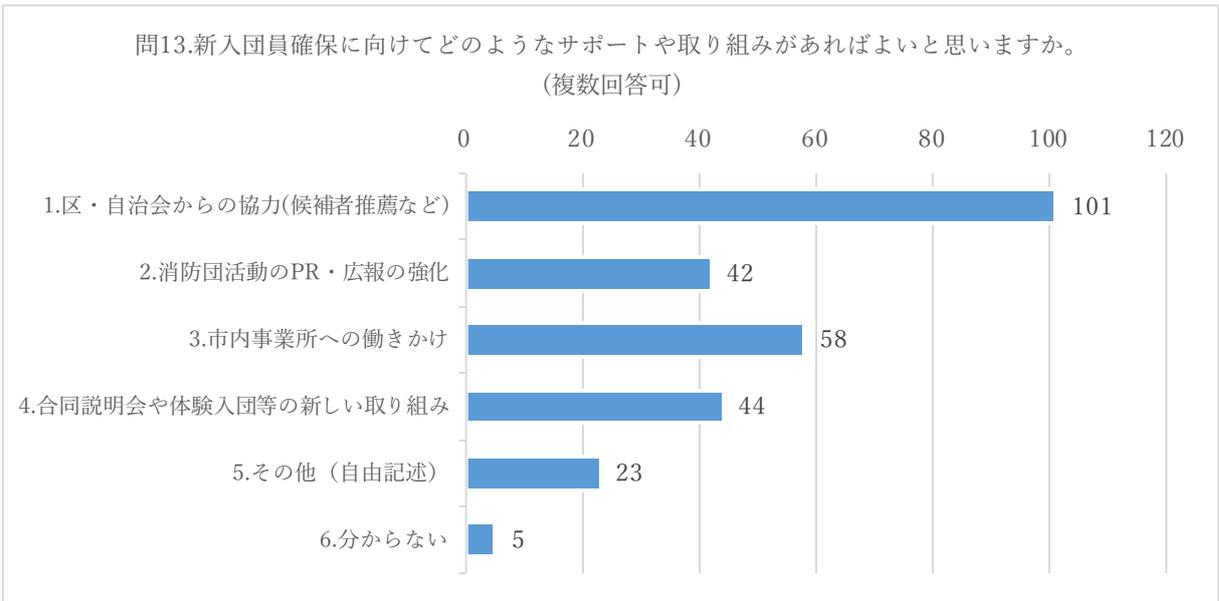


問3.今年度のあなたの消防団活動に対するご家族の負担感は過去と比較して変化はありましたか。(ご家族の感想を聞いて、一つ選択)



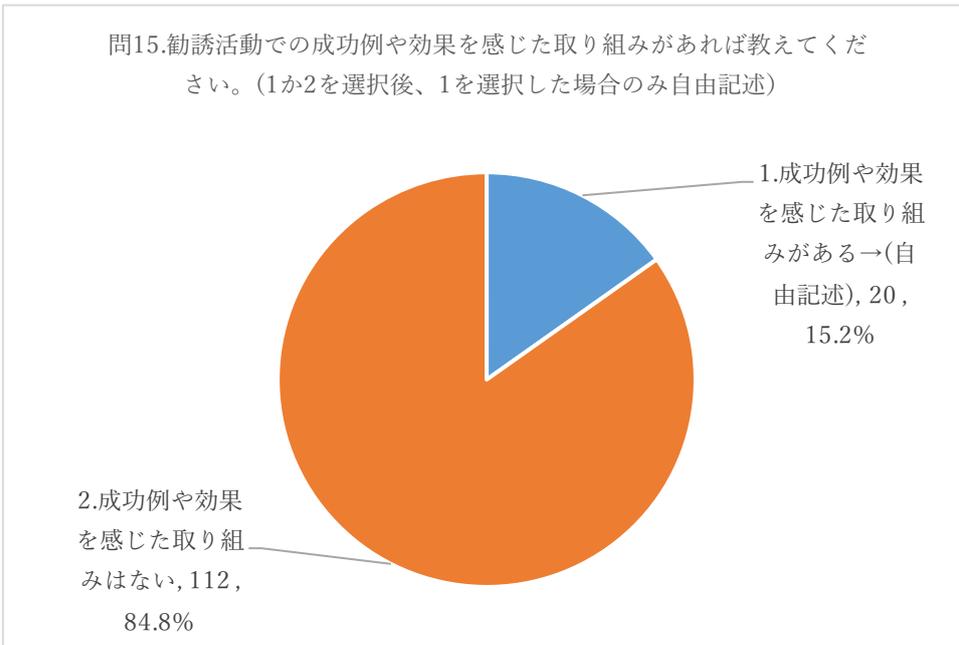
問12.あなたの身近な方や地域からの消防団に対する理解は進んできていると感じますか。(選択は一つ)





問13の5.「その他(自由記述)」回答のキーワード別件数

「消防団活動のPR/必要性の周知」4件、「金銭面での待遇改善」4件、「市が実施すべき」4件、「区/自治会への働きかけ強化」3件、「福利厚生充実」2件、「候補者名簿の提供」2件ほか



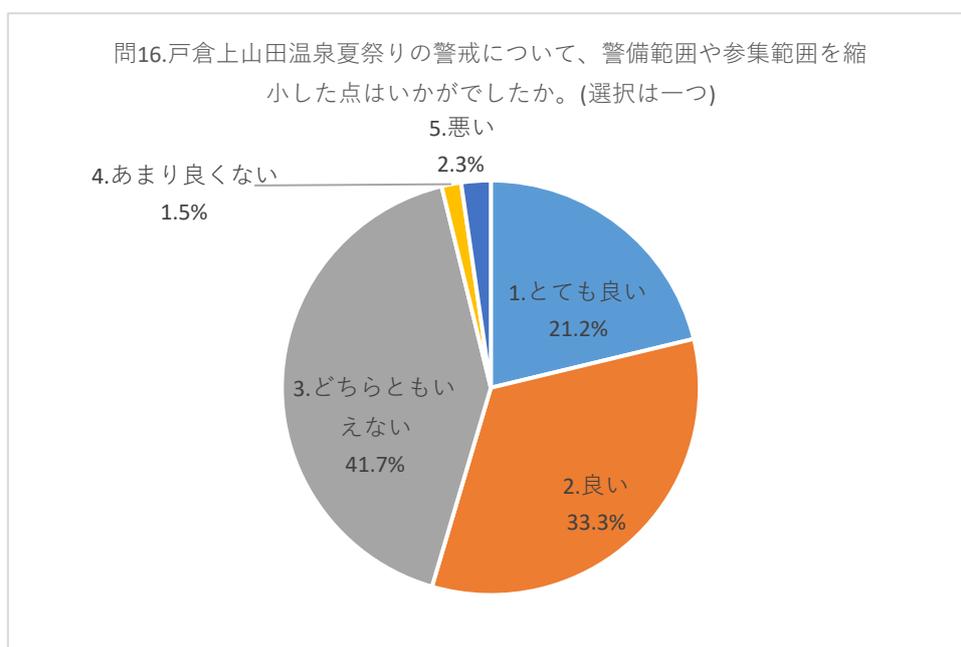
問15の「1.成功例や効果を感じた取り組みがある」を選択した方のキーワード別件数

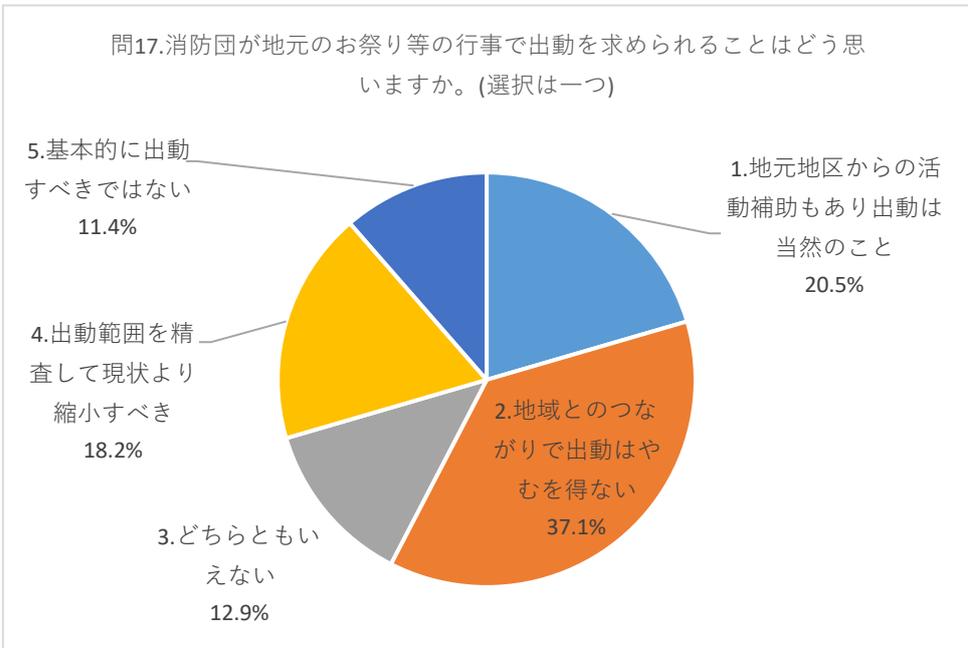
「『地域の仲間が出来る。消防以外の役員など廻って来たとき仲間がいると心強い』等のメリットの強調」4件、「職場でのつながり/アプローチ」3件、「新築世帯/帰郷者へのアプローチ」2件、「地元年配者からの紹介」「入団前に団員との親睦による理解促進」「消防団活動の見学等による活動への理解促進」「意義や仕組みの根気強い説明」「転入者へのアプローチ」「役に立つ訓練があることを強調」「福利厚生(白鳥園割引)のメリットを強調」「地元地区の協力」「名簿の活用」「無理なく活動ができるよう話し合い」「任期の明確化」「高校のOB会でのつながり/アプローチ」「配偶者のつながり/アプローチ」が各1件

### テーマ③各種イベント(お祭り警戒等)との関わり方

令和6年度計画で掲げた主要方針(要約)(P)	令和6年度中に実施できたこと(D)
消防団員が雑踏警備を担ってきた戸倉上山田温泉夏祭り警戒については、参加規模の縮小を検討する。煙火消費に係る部分を中心に、地元分団のみの警戒とすることを検討する。	戸倉上山田夏祭りの警戒範囲を縮小し、参集範囲を地元分団のみとし、参集人員も削減した。 ・祭典本部との事前打ち合わせにより警戒範囲を縮小した。 ・参集を第11、12分団のみとし、人員も前年比約4割減(R5:101名⇒R6:61名)とした。
令和6年度事業の評価・反省点(C)	令和7年度の取り組み(A)
改善の取り組みに一定の評価は得られた一方で、祭典本部が事前に示していた対策が取られておらず、現場の消防団員が対応に苦慮した。 ・「祭典本部からの指示命令が統一されていない」、「事前に祭典役員から示されていた警備が必要範囲より、実際は広範囲を任された形になり、人員がギリギリだった」といった声が複数寄せられた。	・消防団員の出動は令和6年度の方針を継続する。 ・祭典本部に警戒範囲は煙火消費に係る部分のみとすることを求める。

#### ◆関連するアンケート結果(設問16、17の結果概要)

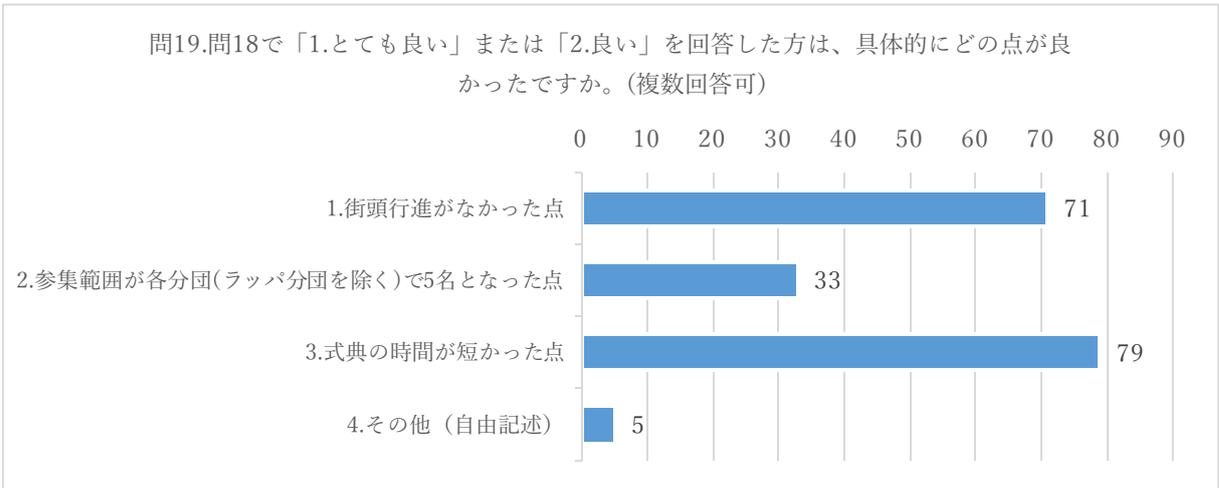
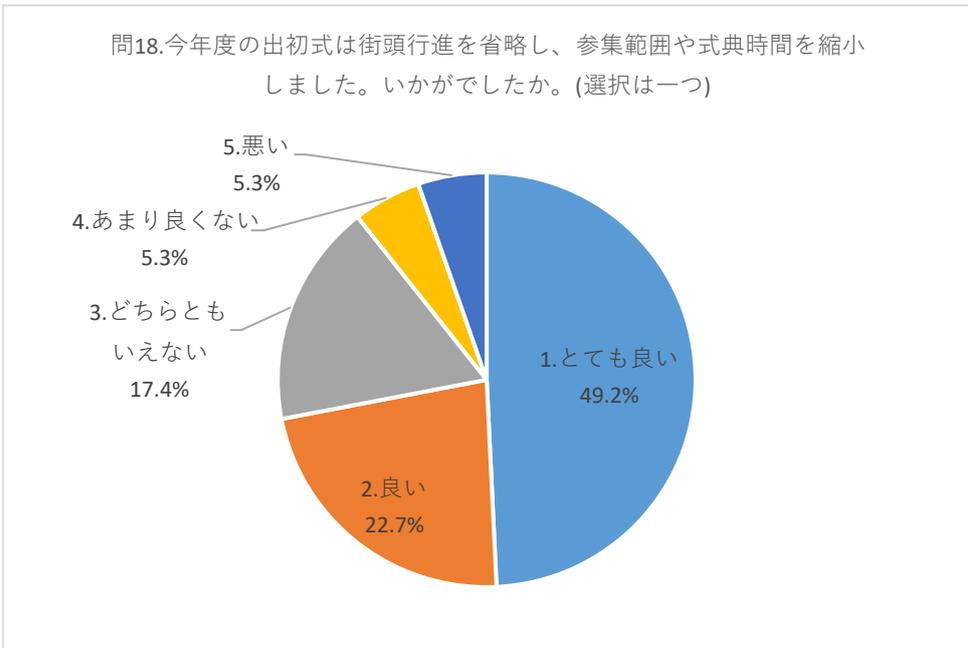




テーマ④消防団行事(任命式や出初式等)のあり方

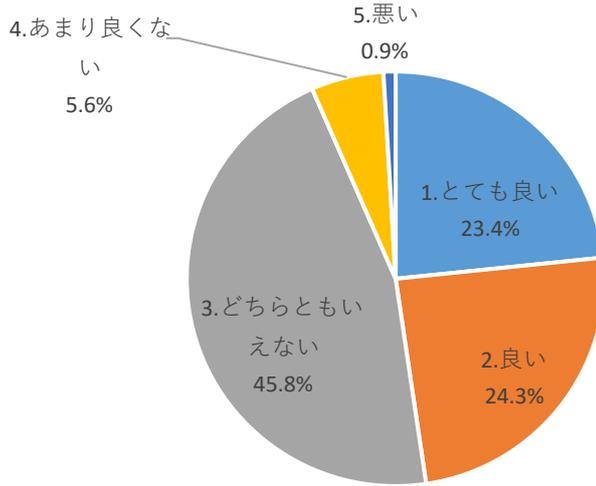
令和 6 年度計画で掲げた主要方針(要約) (P)	令和 6 年度中に実施できたこと (D)
式典関係が伴う行事は、極力簡略化を図る。来賓招待及び各種挨拶は最小限に抑制する等、式典開催準備の際に都度検討する。	令和 7 年 1 月の出初式は街頭行進を省略し、参集範囲や式典時間を過去最小限に縮小した。 ・分団長を通じて行った団員の意向確認等を踏まえ、街頭行進は省略。 ・式典時間も表彰や来賓挨拶を最小限にすることで約 45 分間の実施とした。 ・例年の会場が一部改修中であることも鑑み、市役所大会議室で実施し、各分団(ラッパ分団を除く)の参加は 5 名とした。
令和 6 年度事業の評価・反省点 (C)	令和 7 年度の取り組み (A)
団員の負担軽減を図り、概ね高評価を得られたが、一方で露出機会の減少により PR 機会が減ったことへの対策が求められている。	・令和 6 年度に引き続き、式典関係が伴う行事は、極力簡略化を図る。街頭行進の実施についても事前に団員の意向を確認する。 ・消防団の PR 機会の創出として「消防団フェスタ(仮称)」を実施する(テーマ②で記載)。

◆関連するアンケート結果 (設問 18~22 の結果概要)

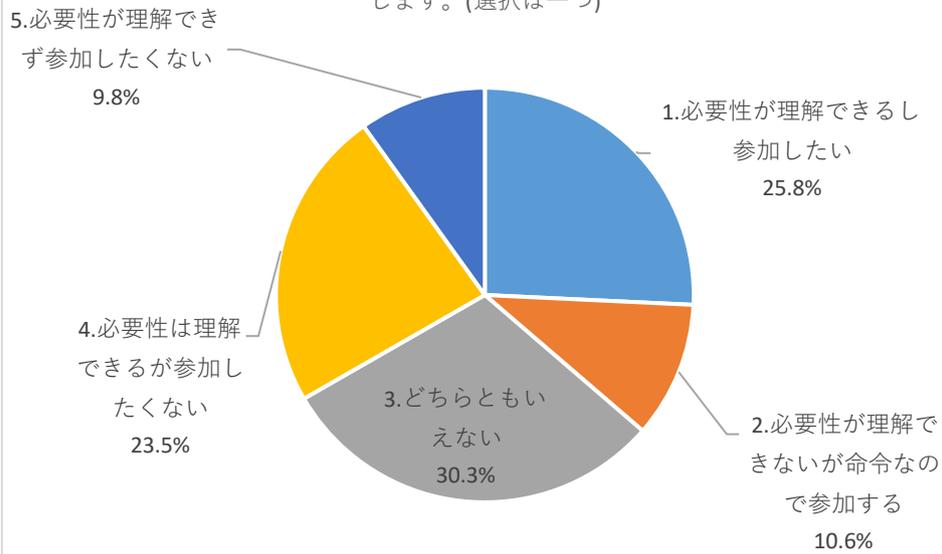


問 20.問 18 で「4.あまり良くない」または「5.悪い」を回答した方は、具体的にどの点が良くなかったですか。(自由記述) 回答のキーワード別件数  
「PR 機会の減少」14 件、「団員間のつながりを保つ機会の喪失」3 件、「緊張感/一体感の低下」  
「団員の誇りを感じる機会の喪失」「省力化の趣旨が不明」「式典感の減少」「開催意義の喪失」「最低限残すべき」「そもそも出初式は不要」各 1 件

問21.出初式の会場があんずホールではなく市役所大会議室になったことはいかがでしたか。(選択は一つ)



問22.式典が伴う消防団行事(出初式・任命式)についての意識をお尋ねします。(選択は一つ)

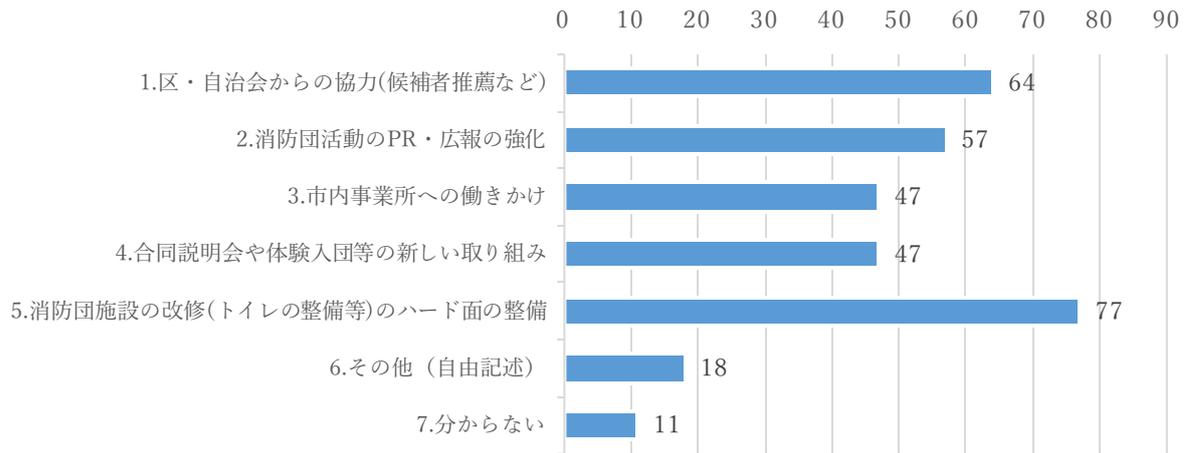


テーマ⑤その他の諸課題

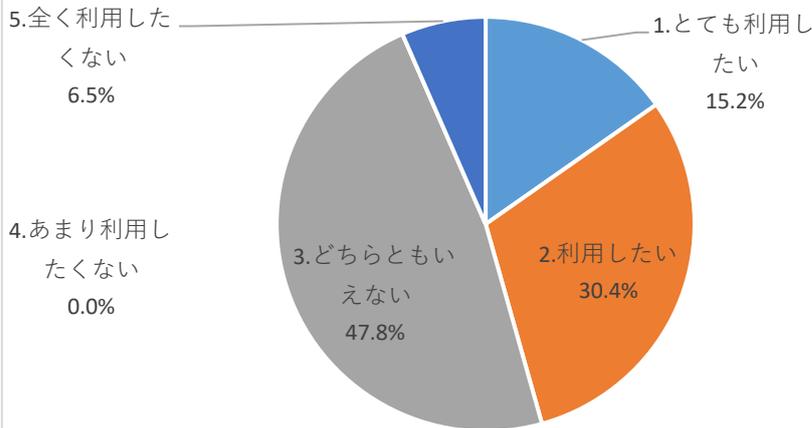
令和 6 年度計画で掲げた主要方針(要約) (P)	令和 6 年度中に実施できたこと (D)
<p>1.準中型免許取得に対する公費助成制度創設の検討</p> <p>2.婦人消防隊のあり方について、活動の意義や課題を整理し、廃止を含めて検討</p> <p>3.土日に限らない効果の高い訓練の開催の検討・実施</p> <p>4.消防団活動マニュアルの作成</p> <p>5.事務局と消防団員との対話の機会を増やす取り組みを検討・実施</p> <p>6.消防団員のモチベーション向上につながる施策について検討</p>	<p>1.準中型免許取得に対する公費助成制度創設の検討 ⇒予算要求等の準備を整え、令和 7 年度中に開始予定</p> <p>2.婦人消防隊のあり方について、活動の意義や課題を整理し、廃止を含めて検討 ⇒区長/自治会長等への意向調査を踏まえ、令和 6 年度末をもち廃止を決定</p> <p>3.土日に限らない効果の高い訓練の開催の検討・実施 ⇒平日夜間(R6.11.29 (金))に「認知症サポーター養成講座を実施」約 20 名が受講</p> <p>4.消防団活動マニュアルの作成 ⇒令和 7 年度中の完成を目指して作成中</p> <p>5.事務局と消防団員との対話の機会を増やす取り組みを検討・実施⇒消防団アンケート等を通じて内容や時期を検討</p> <p>6.消防団員のモチベーション向上につながる施策について検討⇒消防団アンケート等を通じて内容や時期を検討</p>
令和 6 年度事業の評価・反省点 (C)	令和 7 年度の取り組み (A)
<p>・「事務局と消防団員との対話の機会を増やす取り組み」及び「消防団員のモチベーション向上につながる施策」については、検討に留まり未実施</p> <p>・令和 6 年度中の分団長会議で「幹部の任期」について地区により運用が異なる点(規則では 2 年だが、1 年での交替も長年認められている地区もある)が指摘され検討事項とした。</p>	<p>1.準中型免許取得に対する公費助成制度の開始・運営 ⇒要綱を策定し、年度内に開始予定</p> <p>2.女性消防団員確保のための研究を継続</p> <p>3.土日に限らない効果の高い訓練の開催の検討・実施 ⇒アンケートで要望の多かった「ドローン講習」について消防学校での受講手配(10月18日(土)実施予定)</p> <p>4.消防団活動マニュアルの作成</p> <p>5.事務局と消防団員との対話の機会を増やす取り組みを検討・実施</p> <p>6.消防団員のモチベーション向上につながる施策について検討を継続</p> <p>7.幹部の任期について、課題を整理し、方針を示す。</p> <p>8.消防団施設の改修・充実に向けて、「千曲市公共施設等総合管理計画」及び「千曲市公共施設個別施設計画消防施設等編」との整合性を図りつつ、対策を講じる。</p>

◆関連するアンケート結果（設問 14、23~26 の結果概要）

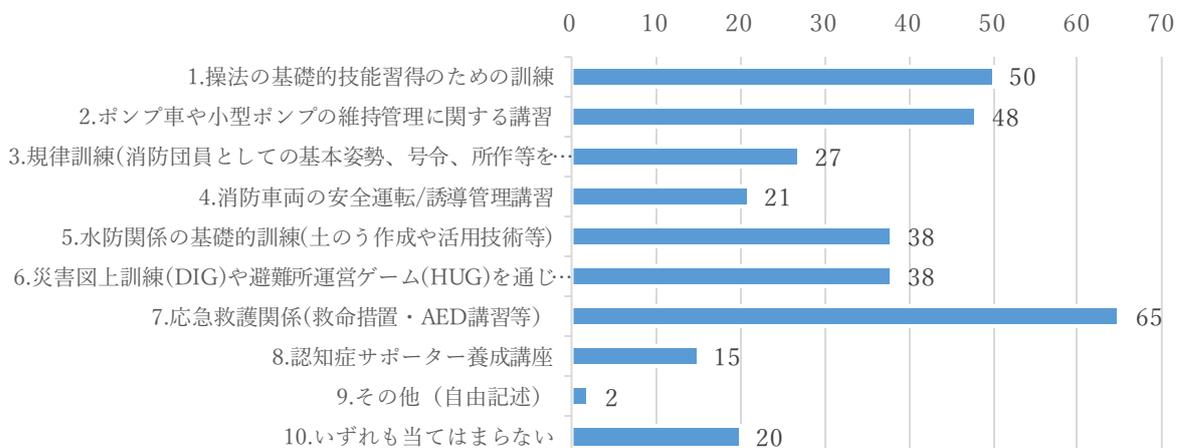
問14.今後、千曲市消防団に女性団員を増加させるために必要なことは何だと思いますか。(複数回答可)

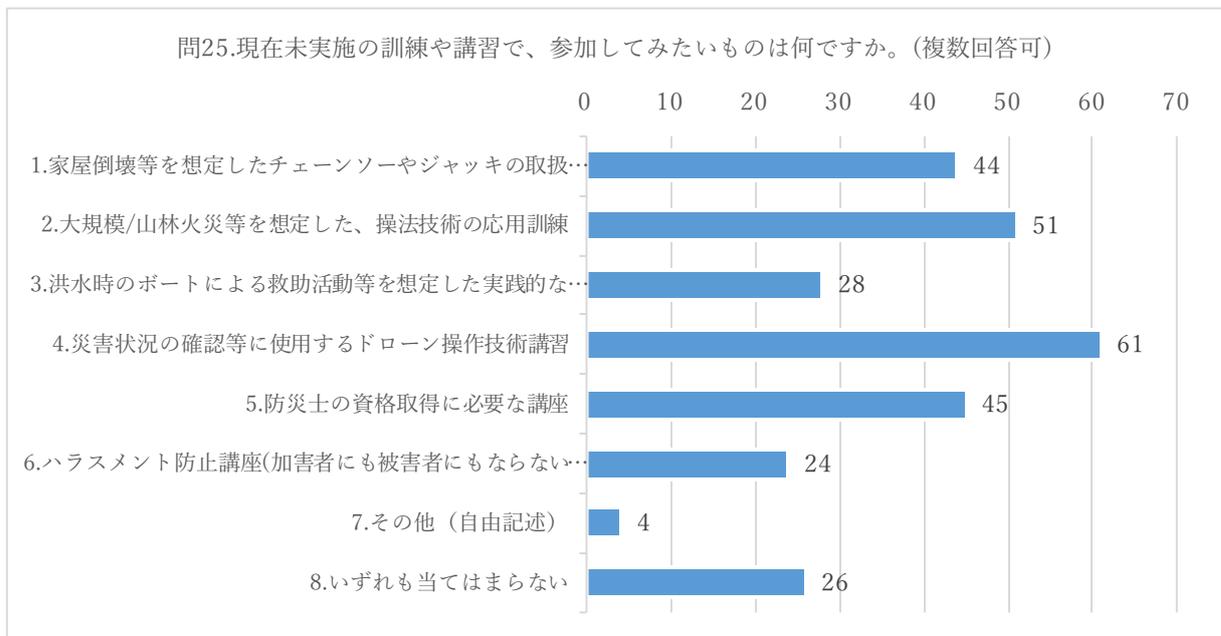


問23.「準中型免許取得費用助成制度(原則、取得費用のほぼ全額を補助。ただし条件あり)」を利用してみたいですか。(選択は一つ)



問24.現在実施中の訓練や講習で、参加して良かった、または参加してみたいものは何ですか。(複数回答可)





問 26 消防団活動の中で「あったらいいな」ということはありますか。(自由記述) のキーワード別件数

「地域の子供たちとの交流機会」5件、「他の分団との交流機会」2件、「資格取得等のスキルアップ」2件、「オンライン会議の活用」2件、「旅行」「役職の経験回数に応じた報酬」「野外調理実習(災害時の炊き出し想定)」「防災士取得にかかる補助」「体位向上訓練」「県内、他の市町村の消防団員との交流」「訓練の動画視聴」「各分団の装備品を使った訓練」「夏服の活動服」「より実践的な訓練」「有益な訓練・講習の対外的な機会拡充」「分団長の負担軽減」「必要性や価値があるか現活動の精査」「入団の決め手となるようなサービス(メリット)の確立」「詰所の建替え」「詰所にエアコン」「団員の福利厚生充実」「団員の行政サービスの充実」「存在意義の明確化」「装備の拡充」「全活動の有償化」「区/自治会への働きかけ強化」「活動期間の上限設定(定年制の導入)」「家族向けの感謝イベント」各1件

令和7年度 千曲市消防団事業計画(日程表)

令和7年度 千曲市消防団事業計画(日程表)

R7.3.13現在

月日	曜日	事業内容	対象
3月30日	日	10時 任命式(千曲市役所 3階301大会議室)	幹部・新任班長・新入団員
		AM 消防本部講話(千曲市役所 3階301大会議室)	正副団長、正副分団長
		AM 第1回分団長会議(千曲市役所 3階301大会議室)	正副団長、正副分団長
4月12日	土	PM 消防学校操法講習(消防学校)	12名(希望者優先)
4月17日	木	16時 第1回埴科消防協会理事会(消防本部)	正副団長、消防係長
4月19日	土	消防学校操法講習(消防学校)	12名(希望者優先)
4月19日	土	ラッパ吹奏講習会(消防学校)	1~3名(正副ラッパ分団長及び指揮者等)
4月20日	日	8:50 規律訓練(戸倉インドアコート)	幹部・新任班長・新入団員
		10:40 消防車両安全運転・誘導管理講習会(消防本部)	各分団2名程度(車両運転員)
		16時 第2回分団長会議(山風荘)	正副団長、分団長
		17:30 消防団新旧幹部引継会(山風荘)	正副団長・前任幹部・新旧分団長
5月9日	金	16時 第1回消防団幹部等連絡会議(消防本部) 仮	正副団長、事務局
5月11日 ~12日	日 月	分団長視察研修(東京・〇〇方面)	正副団長・分団長
5月17日	土	AM 避難所運営訓練 HUG(千曲市役所 3階301大会議室)	全分団(各分団6名程度)
5月22日	木	PM 第2回埴科消防協会理事会(千曲市役所 5階501会議室)	正副団長、消防係長
5月25日	日	水防訓練(大西緑地公園)	全分団
		ポンプ操法講習会(大西緑地公園)	各分団10名程度
5月30日	金	長野県都市消防長・消防団長・事務主任者会議(東御市)	団長、消防係長
6月6日	金	千曲川重要水防箇所合同巡視(千曲川重要水防箇所及び水防倉庫) 仮	正副団長、消防係長
6月7日	土	副団長講習会(消防学校)	新任副団長
6月7日	土	しなの鉄道connect -つながる防災フェス- 仮	第8分団 ※詳細はしなの鉄道と調整中
6月22日	日	千曲市操法技術総合訓練会/埴科消防ポンプ操法大会(大西緑地公園)	全分団
6月29日	日	千曲市操法技術総合訓練会/埴科消防ポンプ操法大会(大西緑地公園) (予備日)	全分団
6月27日	金	14時 千曲市防犯協会理事会(千曲市 あんずホール) 仮	団長
7月4日	金	PM 県大会主将会議(消防学校)	県大会出場チームの分団長
7月13日	日	長野県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会(消防学校)	出場チーム、正副団長、全分団長
7月19日 20日	土 日	戸倉上山田温泉夏祭警戒	正副団長、第11、12分団(警戒範囲によっては変更あり)
8月7日	木	千曲川納涼煙火大会警戒	正副団長、第8~11分団
9月4日	木	PM 第3回埴科消防協会理事会(坂城町役場)	正副団長、消防係長
9月7日	日	千曲市総合防災訓練(埴生中学校)	正副団長・第4・5・ラッパ分団
10月8日	水	第15回長野県消防協会消防団長・事務担当者研修会(松本市)	団長、消防係長
10月18日	土	ドローン講習(消防学校)	各分団の希望者
10月19日	日	普通救命講習Ⅱ	各分団3名
		冬期ポンプ維持管理講習会	ポンプ車機関員
10月下旬~ 11月上旬		埴科消防協会主催 優良消防施設等視察研修	正副団長、消防係長
11月1日	土	千曲市消防団フェスタ 仮	全分団
11月10日	月	火災予防広報パレード(市内全域)	正副団長・分団長
		秋の全国火災予防運動 9日~15日	全分団
11月20日	木	PM 第4回埴科消防協会理事会/行政・協会合同会議(千曲市内)	正副団長、消防係長
11月28日	金	18:30 認知症サポーター養成講座(千曲市役所 301会議室) 仮	分団長及び班長で参加可能な方
12~1月		一人暮らし高齢者家庭防火チラシ配布	全分団
12月26日	金	歳末特別警戒督促巡視・開始式	全分団
1月18日	日	坂城町消防団出初式	参考情報
1月25日	日	千曲市消防団出初式	正副団長・全分団
3月2日	月	火災予防広報パレード(市内全域)	全分団
		春の全国火災予防運動 1日~7日	正副団長・分団長
3月5日	木	PM 第5回埴科消防協会理事会(坂城町役場)	正副団長、消防係長
その他年間活動 分団長会議・・・年10回程度開催			
消防本部で秋に実施する「消防フェスティバル」は11/1(土)か11/8(土)か11/15(土)であり、関わり方を検討			
第2回 消防団等幹部連絡会議(2月予定) <(消防本部主催)正副団長及び事務局>			
消防水利・機械器具点検 随時<各分団>			
機械器具点検(エンジン始動必須)・防火啓発--毎月定例日に実施<各分団>			
※ AED講習会(人数10名前後~)、HUG講習会(人数20名前後~)等各分団及び各地区等での開催可能 日程等調整必要			
※ 各地区のイベントに消防団コーナー等を設け積極的に参加(アピール)する。事務局で企業訪問等も行う。			

## 4.改善計画の運用

本計画の内容は、令和6年度と同様に、年度末付近(1月～2月頃)に各主要方針に基づく実際の活動の進捗や反省事項の確認(ローリング作業)を行い、次年度の活動計画に反映させる。また、年度途中でも、本計画に関連する消防団員からの声を分団長会議等で共有し、必要に応じて、柔軟に修正を行う。

## 5.参考資料

### 令和6年度千曲市消防団アンケートの結果概要

目的：千曲市消防団改善計画の更新作業の参考にするため、令和6年度の消防団事業の改善の取り組みの評価等を千曲市消防団員に尋ねたもの。

設問数：全27問

回答方法：インターネット上で回答する「webアンケート」で実施

回答期間：令和7年2月7日(金)から2月16日(日)

回答数：132

回答結果詳細：別冊資料参照

# 総務省消防庁作成「消防団員の確保に向けたマニュアル」関係資料

(令和7年1月21日付 消防庁国民保護・防災部 地域防災室長通知)

消 防 地 第 23 号  
令和7年1月21日

各都道府県消防団担当部（局）長 殿

消防庁国民保護・防災部 地域防災室長

## 消防団員の確保に向けたマニュアルについて

消防団員の減少が続き、地域防災力の低下が懸念されている中、南海トラフ地震など今後発生が危惧される大規模災害等に備え、地域防災力の中核を担う消防団の万全な体制を構築するためには、消防団員の確保が不可欠となります。

このため、消防庁においては、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成25年法律第110号）の趣旨を踏まえ、消防団員の減少に歯止めをかけ、消防団の充実強化を図るべく、女性や学生等の幅広い住民の入団促進に向けた広報や、消防団員の報酬等の処遇改善、企業等との連携強化等、団員確保に向けて取り組んでおります。

この度、消防庁としては初の取組として、地方公共団体の職員及び消防団員向けに、消防団の魅力発信、関係機関等との連携強化、現役団員の負担軽減などの働き方改革、女性消防団員等が活躍できる環境づくり等、団員確保につながるノウハウを記載した「消防団員の確保に向けたマニュアル」を作成しました。

貴職におかれましては、域内の市区町村（消防団を所管する一部事務組合）に対し、消防団員にも配布するよう依頼の上、団員確保につながる取組を検討する際には、本マニュアルを積極的に活用するよう周知していただくとともに、当該市区町村との連携を密に、更なる消防団員の確保に向けて取り組んでいただくようお願いいたします。

### 【お問い合わせ先】

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室  
川崎課長補佐、山下係長、碓井官、水野（泰） 官  
TEL：03-5253-7561  
Email：syobodan@ml.soumu.go.jp

消防団員の確保に向けたマニュアル		別紙
<p>○ 消防団員の確保につながるノウハウを9つのポイントに分け、各地域の優良事例を多数取り上げ、自治体を取り入れやすいよう体系的に掲載した消防庁としてお示しする初のマニュアル。</p> <p>○ 消防団の魅力発信をはじめ、新規団員の確保策、現役団員の負担軽減や女性などが活躍できる環境づくりなどを通じた消防団の充実強化につながる手法を紹介。</p> <p>○ 今後、各消防本部をはじめとする地方公共団体にお示し、消防団員の確保に向けた取組を更に強化。</p>		
各ポイントの主な内容		
<b>消防団の魅力発信のポイント</b>	<b>⑥ 大学等との連携</b>	
<b>① 地域の現状を把握する</b> ・ 消防団員・地域住民へのアンケートなどを活用した各地域の現状把握	・ 看護学生や公務員志望の学生が多い学科など、消防団と親和性のある大学等へのアプローチ手法 ・ 学生が入団するメリット(就職活動時のアピール材料、幅広い世代との交流等)	
<b>② 消防団の魅力を明確化する</b> ・ 地域貢献、防災等に関する知識・スキルの習得、ドローン等の操縦技術や準中型免許等の資格取得、様々な職種・世代との交流等	<b>⑦ 地域との連携</b> ・ 学校などの教育機関やコミュニティスクール、少年消防クラブ等と連携した防災教育・訓練 ・ 自治会などの地域コミュニティ、防災士などの地域を支える様々な主体との連携	
<b>③ 認知度や関心度を高める</b> ・ イベントやSNS等の様々なツールの積極的な活用	<b>働き方改革などの環境づくりのポイント</b>	
<b>新規団員確保に向けた働きかけのポイント</b>	<b>⑧ 消防団の負担軽減等の働き方改革を進める</b>	
<b>④ 機能別団員・機能別分団制度を活用する</b> ・ 地域の実情や個人の特性に応じた機能別団員・機能別分団の検討(消防職団員・関係機関のOBや学生の活用、ドローン、重機、バイク等の技能を活かす活動等) ・ 機能別団員・機能別分団を導入する際の検討プロセス、注意点などの具体的手法	・ 活動の効率化につながるアプリ等のデジタル技術の活用 ・ 操法大会や訓練等について、家庭や仕事の状況等に配慮した見直しや、参加の任意性の確保等による負担軽減策 ・ 世代を超えてフラットな立場で意見を出し合える風通しの良い組織づくり ・ 女性団員が主体となった活動チームの結成や女性幹部の登用等による女性が活躍できる環境づくり	
<b>⑤ 事業所との連携</b> ・ 農業や建設業など、地域に密着した事業所へのアプローチ手法 ・ 消防団に協力する事業所のメリット(入札参加資格などの優遇措置、表彰制度、イメージアップ等)	<b>⑨ ハード面等の環境整備を進める</b> ・ 詰所における女性用トイレ・更衣室の整備、子育て世代に向けた託児サービスの提供、小型・軽量化された車両・資機材の整備など、全ての団員が活動しやすい環境づくり	



令和 7 年度千曲市消防団改善計画

令和 7 年 3 月策定

編集発行／長野県千曲市危機管理防災課

〒387-8511

長野県千曲市杭瀬下二丁目 1 番地

TEL 026-273-1111

E-mail [bosai@city.chikuma.lg.jp](mailto:bosai@city.chikuma.lg.jp)